

# 北海道地域福祉学会ニュース No.50

発行日：2017年7月31日

編集：北海道地域福祉学会広報委員会（委員長 忍 正人）

## 2016年度第3回定例研究会（報告）

2017年2月18日（土）、北星学園大学にて、講師に社会福祉法人さつき会（特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑）の施設長波瀲幸俊氏をお迎えして2016年度第3回定例研究会が開催されました。当日の参加者は講師を含め23名となりました。

この日は、「鷹栖町・さつき会における地域包括ケアの展開～総合事業から看取りまでシームレスなサービス提供と軽度から中重度者の地域生活を支える人材育成と地域づくりを目指して～」をテーマに、（1）総合事業から看取りケアまでのシームレスケア、（2）住民参加型地域包括ケアの推進、（3）虚弱・軽度者に対するリハビリテーション機能強化、（4）施設利用者に対する重度化対応・重症化予防、（5）在宅利用者に対する健康リスク重視のケアマネジメント、（6）新・総合事業の積極的な提案・受託と安心住まいの整備、（7）介護・福祉人材の確保・育成・定着の取り組みについてお話しいただきました。その中でも、厚生労働省の「地域包括ケアシステムの構築に関する事例集」にも紹介された地域住民の互助組織「ぬくもり友の会」が特別養護老人ホーム・小規模多機能ホームの設立に関わり、また、同上施設内にある地域交流スペースを拠点としたサロン活動や事業所の駐車場を活用した朝市の運営は、住民のニーズに応え、元気高齢者の主体的な仲間づくりと活躍の場を生み出す活動となっています。



## 2017年度第1回定例研究会（報告）

2017年度第1回定例研究会は、2017年7月1日（土）に北星学園大学にて社会福祉法人池田町社会福祉協議会事務局長佐藤智彦氏を講師にお迎えして開催されました。当日は、全道の社会福祉協議会や地域包括支援センターの職員の方々を含め47名が参加されました。

2017年度は、「地域共生社会の実現に向けたコミュニティワーカーの専門性」を学会活動テーマとしています。高齢者・障害者・子どもといった対象者ごとに、典型的と考えられるニーズに対して専門的なサービスを提供することで福祉施策の充実・発展に寄与してきたこれまでのわが国の公的な福祉サービスが縦割りシステムとして課題が生じています。地域包括ケアシステムの深化や「我が事・丸ごと」のもとで推進される地域共生社会の実現が迫られるなか、地域福祉の推進を目指すコミュニティワーカーの役割や機能、更には求められる専門性などについて、今一度整理する必要があると考えました。

今回は、佐藤事務局長に「池田町社協の総合事業等の取組みから考えるコミュニティワーカーの専門性—介護予防プログラムの導入から始める介護予防・日常生活支援総合事業の実践を通して—」をテーマに、池田町が住民主体の介護予防の基盤づくりに取り組んできたプロセス、そこでのコミュニティワーカーの関わりを丁寧にご説明いただきました。



## □通常総会が終了いたしました

7月1日（土）北海道地域福祉学会 2017 年度通常総会を開催いたしました。総会では、2017 年度事業計画案ならびに収支予算案が承認されましたのでご報告申し上げます。また、2017 年度学会活動テーマは「地域共生社会の実現に向けたコミュニティワーカーの専門性」となりました。

なお、役員改選につきましては、本学会の会長を長らく務められた杉岡直人会長に代わり、梶晴美会長（北翔大学）のもと、本年度9月より下記役員体制により学会業務を執行して参りますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 新 役 員 構 成

任期：2017 年 9 月 ～ 2020 年 8 月

会長			
梶	晴美	北翔大学生涯スポーツ学部	教授
副会長			
忍	正人	名寄市立大学保健福祉学部	准教授
理事			
隼田	尚彦	北海道情報大学情報メディア学部	教授
富田	彰	北海道社会福祉協議会	事務局次長
飯島	紀子	札幌市南区第2地域包括支援センター	主任ケアマネジャー
篠原	辰二	一般社団法人ウェルビー・デザイン	理事長
杉岡	直人	北星学園大学社会福祉学部	教授
岡田	直人	北星学園大学社会福祉学部	教授
		日本地域福祉学会	理事
松本真由美		日本医療大学保健医療学部	准教授
運上	昌洋	有限会社アット	代表取締役
畠山	明子	北星学園大学社会福祉学部	非常勤講師
監 事			
大内	高雄	前北星学園大学社会福祉学部	教授
白戸	一秀	前旭川大学保健福祉学部	教授

## ▶ 事務局より

### 北海道地域福祉研究第 20 巻の発刊について

2016 年度末に投稿を募集いたしました北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究 2016 年 第 20 巻」は、現在、発刊に向けて作業を進めております。原稿を投稿いただきました会員の皆様には、お時間を頂戴しておりますことを改めてお詫び申し上げますとともに、発刊の折には改めてご案内させていただきますので、今しばらくお待ちいただけますよう、お願い申し上げます。

## ☑会員状況（2017 年 7 月 28 日まで）

### 【新規入会（敬称略、入会順）】

古田聖（行政書士・海事代理士ふるたから事務所）、  
銭本隆行（日本医療大学認知症研究所）、島田剛（社会福祉法人北見市社会福祉協議会）、橋本達志（就労継続支援 B 型事業所 ここりカ・プロダクション）、  
社会福祉法人京極町社会福祉協議会（団体正会員）、  
NPO 法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび（団体正会員）、熊谷友和（Design:L）

現会員数：130 名

## ☑業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施しています。事務局において調整やご相談に応じておりますので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお願いいたします。

## ☑学会費の納入をお願いします

学会費は学会規約・会員種別により定められております。会費を2年以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすことができると定められておりますが、より多くの会員の皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会費の納入にご協力をお願いいたします。ご連絡がない状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際には未納分の納入をご依頼することとなりますので、ご注意願います。

## ☑会員情報の変更をご連絡ください

勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があった場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可能です。

## ☑2017 年度学会行事予定

全道研究大会 11月18日（土）  
第2回定例研究会 2月17日（土）

## □事務局（事務局員：篠原・佐藤・畠山）

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28  
一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL：011-801-7450

FAX：011-801-7451

Eメール：info@hacd.jp

URL：http://www.hacd.jp

URL

